

「令和4年度第3回川西市介護保険運営協議会 意見提出書」の取りまとめ結果について

区分	ページ	質問	ご意見等	ご意見等への回答
ニーズ	48	問5(1)⑤	<p>「介護予防のための通いの場」に「参加していない」が68%又「参加したい」と考えている方が50%あるとの答えです。私も長年、地区福祉委員として、地域住民の「ひろば」づくりに力を注いでまいりました。健康づくりをはじめ、趣味、季節毎の行事に企画、運営をしてまいりました。この活動を生かす為にも、今後、広報活動が重要だと感じています。まずは「ひろば」があることの認知を強化する事からだと、調査結果を見て思いました。</p>	<p>令和4年3月から、市民や関係機関がパソコンやスマートフォンなどを用いて、タイムリーに正確な情報を検索して活用することができる「福祉と医療の総合サイト<かわにしサポートナビ>」を運用しております。かわにしサポートナビでは、市内の医療機関や介護サービス事業所だけでなく、地域で活動されている健康体操やサロンなどの通いの場や、趣味の活動など様々な社会資源を検索することができ、現在約1,500件の登録があります。</p> <p>かわにしサポートナビが多くの方に利用されるよう、引きつづき生活支援コーディネーターが中心となり周知・啓発を行ってまいります。</p>
ニーズ	61	問6(6)	<p>家族、友人、知人以外で相談する相手に、民生委員が少なかった事に衝撃を受けました。元民生の仕事は何年も携わってきた私にとりまして、民生委員としての力なさを感じました。どうして?と考えた時、時代の変化で今や介護保険制度があり、身近な所では地域包括支援センターがあります。民生に頼ることが少なくなった事に起因しているのではと推察されます。又、地域毎の福祉委員会が活発になり、一部の地域では病院や買物の送迎、安否確認もされています。又、少子化により、友人との繋がりも深くなり、民生委員の役割も終わったかなと思われれます。</p>	<p>介護保険サービスの充実や地域包括支援センターの設置により、高齢者を対象とした相談支援の内容は以前に比べると充実してきております。</p> <p>しかしながら、地域や家族のつながりが希薄化する中で、そういった福祉サービスにつながるできないまま、地域で暮らす高齢者の方もいらっしゃると思います。</p> <p>民生委員は、特に一人暮らしの高齢者への訪問活動を行い、地域で孤立することがないように声かけを行い、必要な福祉サービスにつなげていただくなど重要な役割を担っていただいていると考えております。</p>

区分	ページ	質問	ご意見等	ご意見等への回答
ニーズ	66	問6(9)	「あいさつ程度」が42.9%で最も高い。これは近所づきあいの希薄化が進んでいると考えられます。近所づきあいを大切にすることは災害時大きな役割を果たしています。これは、阪神淡路大震災でも説明されています。最近、女性の社会進出で、日中、留守宅が増え、時間の余裕、心の余裕のなさで近所づきあいも困難な状態です。これを受け「これからのコミュニティーがどのようにあるべきか」を考えていかねばならないと思っています。検討しなければいけない問題だと思っています。	今の時代にマッチした人と人とのつながりを広げていくため、また、地域が求めるありたい姿をめざすために、どのような働きかけが必要なのか検討のうえ、地域住民・行政・生活支援コーディネーター・社会福祉協議会などの関係団体の連携のもと、地域づくりを進めていく必要があると考えております。
在宅介護	3	問3	寝たきり状態になると有無を言わず施設等を探さなければと思えます。情報収集等の必要性をもっと知るべきだと思います。男性の入所検討が平均寿命年数の違いか在宅介護を希望しているのに繋がっていると思う。在宅介護の大変さが分かっていないと推察される。介護者の努力、介助を認識して欲しい。	パソコンやスマートフォンを用いてどなたでも市内の医療機関や介護サービス事業所、地域の居場所など様々な社会資源を検索することができる「福祉と医療の総合情報サイト<かわにしサポートナビ>」を運用しております。 かわにしサポートナビが多くの方に利用されるよう、引きつづき生活支援コーディネーターが中心となり周知・啓発を行ってまいります。
在宅介護	11	A票 問8	移送サービスの件、ボランティア・タクシーを活用する。今もグレイゾーンであるようですが、グレイではなく有償ボランティアとして認められ活動してほしい。	移送により、対価が発生する場合、関係機関と調整するとともに、法令を遵守して実施する必要があります。 なお、本市において、有償ボランティアによる外出支援サービスを実施している団体はあります。
在宅介護	21	B票 問6	現状のグラフをみて介護、介助者の息抜きはどうなっているのか気がかりです。	介護保険サービスには、通所介護（デイサービス）や短期入所生活介護（ショートステイ）といった介護者のレスパイトに資するサービスがあり、ケアマネジャーによる適切なケアマネジメントのもと、これらのサービスをご利用いただいているものと考えております。

区分	ページ	質問	ご意見等	ご意見等への回答
在宅介護	35	C票 問5	経済状況の医療費の現状は入院時の経済負担金が多いこと、空き室がなく、取り敢えず個室を勧められるか、1か月30万円を超えると配偶者の生活に不安支障を来し相談を受けることがあります。普通と答えている方の認識は大丈夫でしょうか。	この設問では調査実施時点での暮らしの状況をたずねているため、ご指摘いただいている入院しなければならなくなった場合の経済的負担に関する認識を推し量ることは難しいと考えております。
ニーズ	40	問8(8)	《年齢別》 「65以上70歳未満」→「65歳以上70歳未満」	ご指摘に基づき修正いたします。
ニーズ	48	問5(1)⑤	「週1回」が1.6%→「月1～3回」も同じ割合になっています。	ご指摘に基づき修正いたします。
ニーズ	58	問6(4)	上から2行目 「65歳以上80歳未満」 →「65歳以上70歳未満」なのでしょうか。 →「65歳以上70歳未満」&「70歳以上75歳未満」&「75歳以上80歳未満」？ ※下段なのであれば「80歳未満」と表記した方が分かりやすいのではないのでしょうか。	ご指摘に基づき、『「80歳未満」では・・・』に修正いたします。
ニーズ	124		《年齢》 「80歳以上」→「85歳以上」	ご指摘に基づき修正いたします。
在宅	4	A票 問3	上から2行目 「75歳以上75歳未満」→「70歳以上75歳未満」 「85歳以上」→「95歳以上」だと思います。	ご指摘に基づき修正いたします。
在宅	15	B票 問2	《年齢別》 →「65歳以上70歳未満」&「70歳以上75歳未満」&「75歳以上80歳未満」？ ※「80歳未満」でいいと思います（続きは「85歳以上」と表記している。）	ご指摘に基づき、『「85歳未満」では・・・』に修正いたします。
在宅	17	B票 問3	《年齢別》上から2行目 →男性の割合が高いのは「65歳以上70歳未満」 →女性の割合が高いのは「70歳以上75歳未満」&「85歳以上」	ご指摘に基づき、『「65歳以上70歳未満」、「75歳以上80歳未満」では「男性」、「70歳以上75歳未満」、「80歳以上」では「女性」・・・』に修正いたします。
在宅	18	B票 問4	《年齢別》 「85歳以上」では「男性」→削除	ご指摘に基づき削除いたします。

区分	ページ	質問	ご意見等	ご意見等への回答
在宅	37	C票 問6	上から2行目 「65歳以上75歳未満」→「65歳以上70歳未満」	ご指摘に基づき修正いたします。
在宅	38	C票 問7	«年齢別» 「65歳以上75歳未満」→「65歳以上70歳未満」	ご指摘に基づき修正いたします。
在宅	40	C票 問8	«年齢別» 「65歳以上75歳未満」→「65歳以上70歳未満」 ※「話し合ったことはない」の方です。	ご指摘を踏まえ、『「65歳以上70歳未満」、「70歳以上75歳未満」 では「話し合いを行い書面を作成している」、「65歳以上70歳未 満」、「95歳以上」では・・・』に修正いたします。